

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-3		事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入
担当	交通局高速電車部車両課 修理 TEL896-2751			
全 体 計 画				
事業内容	既存線営業における安全性と信頼性を確保するため、老朽化の著しい車両の更新を行う。更新に際しては、バリアフリーの観点から低床車両を導入し、利用者サービスの向上を図る。		＜年度別の事業内容＞	
			【平成22年度】低床車両を1両導入	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
事業内容・規模・件数等				

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
低床車両の数		—	—	—	—	—	1両
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
(財)鉄道技術総合研究所と川崎重工業(株)が開発した新型低床式路面電車の走行試験のためにフィールドを提供(H19.11~H20.3)し、冬季運行の安全性などに関するデータを収集した。				路面電車の安全運行のために、老朽車両については適切な更新を行う必要がある。札幌市のような積雪寒冷地では世界的にも低床車両の導入事例がないため、冬季運行の安全性や信頼性に関するデータを引き続き収集し、札幌に適した低床車両を検討する必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
<p>低床車両導入の延期</p> <p>&lt;理由&gt; 車両更新に当たり、当初、「LRTシステム整備事業費補助」(補助率:1/4)の活用を考えていたところであるが、国の補助予算枠が「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助」(補助率:1/3)に大きく移行した。 LRTシステム整備事業費補助は、今後も一層先細りとなること及び新たな補助制度の方が有利であることなどから、新たな補助制度を活用すべきであるとの判断に至った。(H21年1月) なお、同年11月には、行政刷新会議による「事業仕分け」が行われ、LRTシステム整備事業費補助については、新規事業の採択が廃止となり、今後、「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助」との統合も検討されている。 今後は国の補助スキームの動向を見極めたうえで国費の導入を図る必要があることから、平成22年度の車両更新は延期とする。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3			事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			—	—	—	—	—		
	財源内訳	国・道	支出金							
		市	債							
		その他の	財源							
予算	事業費			0	0	0	0	0		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他の	財源	0	0	0	0	0		
実績	事業費			0	0	0	—	0		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
		市	債	0	0	0		0		
		その他の	財源	0	0	0		0		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)						—
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										